

EARTH ECO
MAIL MAGAZINE

アース・エコ メールマガジン

特定非営利活動法人
アース・エコ
メールマガジン No.10-18
2019年12月22日(冬至)

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月2回、メールマガジンをお届けしています。

今年も残りわずか。今年は9、10月の台風による風と大雨が記憶に残ります。横浜の気温は平年と比べ、7月の-0.7℃から8月+1.7℃、9月+2.0℃と一気に高くなり暑い夏の印象でした。秋以降も高温傾向が続き一年を通して見ると+1.1℃、昨年+1.3℃には及ばない予想です。



クリスマス親子エコ工作教室

前号メルマガで、12月1日(日)に横浜市青葉区の横浜市藤が丘地区センターでクリスマス親子エコ工作塾を開催したことを報告しました。12月に入ると3週連続で週末にクリスマスツリーの工作教室を開催するのがアース・エコの恒例になりました。

12月7日(土)横浜市緑区の横浜市長津田地区センターでクリスマス親子エコ工作教室を開催しました。参加したのは小学生14名とその保護者10名の合計24名、講師・スタッフは5名でした。

12月15日(土)横浜市港北区の横浜市菊名地区センターでクリスマス親子エコ工作教室を開催しました。参加したのは小学生10名とその保護者5名の合計15名、講師・スタッフは8名でした。

2つの教室で共通していたのは母親より父親の参加が多かったことです。イクメンが流行語になったのは2010年ですが、育児や子どもの教育に積極的に参加する父親が増え、定着してきたことが伺えます。しかも子どもよりも真剣に温暖化の話に耳を傾け、省エネ実験に参加する保護者がほとんどです。

地球温暖化の話が一番聞いてもらいたいのは子育て世代のお父さん、お母さんですが、そうした機会を

を増やすため2013年に親子工作教室の取り組みを始めました。試行錯誤を経て、ここ数年は12月にクリスマスツリーの工作教室を開催するようになりましたが、参加した保護者の皆さんの姿勢から、当初の目的がようやく成果となって見えるようになりました。

菊名地区センターの教室ではもう一つ嬉しいことがありました。子どもと保護者それぞれに、教室の最後に感想を書いてもらっていますが、ある保護者から「3年程前にも上の子がこちらの教室を受講して楽しかったのでもう一度受けられて良かったです。」との感想がありました。このような評価をいただき参加いただいたのは有難いです。

この教室には赤ちゃんも連れて参加したお母さんもいました。実験などで少々騒々しい室内でしたが、バギーの中でスヤスヤ眠っていました。「この子が教室に参加する歳になるまで頑張らなければ。」と思いました。
[桑原]



省エネの話に耳を傾ける保護者



飾付けの前にLEDの点灯を確認



ツリーの飾付けに夢中になる児童

かながわ環境学校 横浜市青葉区内の小学校



44人集まると少し狭い理科室



異種金属による熱起電力の実験



ペルチェ素子による温度差発電



燃料電池の実験

12月20日(金)横浜市青葉区内の小学校でクラブ活動の4~6年生44名を対象に「かながわ環境学校~あなたも省エネに挑戦!地球温暖化防止~」の出前授業を行いました。講師・スタッフは9名でした。

数年前に別の小学校で出前授業を行った際にお世話になった副校長先生がこの小学校に転任されたのをご縁に、その副校長先生のご尽力もあって今回の出前授業を行う運びとなりました。

対象の児童は自然科学クラブの28名と電子工学クラブの16名の合計44名。最初に全員が理科室に集合し、挨拶、自己紹介、授業の概要説明の後、パワーポイントの画面を見ながら地球温暖化と省エネについて学びました。その後は、自然科学クラブと電子工学クラブとで二つの部屋に分かれてそれぞれ実験を行いました。

自然科学クラブの28名は理科室に残り、温度差発電の説明を聞き、実験をしました。最初に、4種類の金属の針金から異なる2種類を選び、ペンチを使って捻り合わせ、捻った部分をドライヤーで加熱して起電力を測定しました。発生する電圧は選んだ金属の種類によって異なります。

次に半導体素子(ゼーバック素子)の片面を保冷剤で冷やし、反対側を手のひらの体温で温めると温度差によって起電力が生じ、素子に繋げたモーターが回ることを実験しました。また、同じ素子に手回し発電機を繋げて電圧を加えると片面が冷たく、反対側が温かくなること、電圧の極性を逆転すると冷たい面と温かい面が逆になることを実験しました。

電子工学クラブの16名は別室に移動し、燃料電池の説明を聞き、実験をしました。燃料電池の実験では、水を電気分解して作った水素と酸素を燃料電池セルに供給し、水素と酸素が結合して再び水になる際に発電することを実験しました。また、手回し発電機で作った電気で水を電気分解して水素を作り、模型の燃料電池自動車に水素を充填して走らせる実験も行いました。

最後にどちらのグループも授業の感想文を書いて終了しました。予定の時間を少し超過しましたが、盛沢山の内容に興味が冷めやらず立ち去り難く、先生に促されてようやく帰宅する児童もいました。 [桑原]



燃料電池自動車を走らせる

これからの活動予定

- ◇ 1月14日(火) かながわ環境学校④、横浜市緑区内の小学校
- ◇ 1月20日(月) かながわ環境学校⑩、相模原市緑区内の小学校
- ◇ 1月21日(火) かながわ環境学校⑦、葉山町内の小学校
- ◇ 1月22日(水) KISTECなるほど!体験出前教室④、平塚市内の小学校
- ◇ 2月4日(火) 学校出前授業、横浜市青葉区内の小学校

1月の例会・勉強会

1月8日(水)13:30-16:30
かながわ県民センター会議室

1月の第一水曜日は元日のため、第二水曜日に開催します。

- ◇ 2月8日(土) 厚木市環境市民学習講座、厚木市役所
- ◇ 2月12日(水) かながわ環境学校⑥、横浜市泉区内の小学校
- ◇ 2月19日(水)、20日(木) かながわ環境学校③、葉山町内の小学校

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問合せください。 earth.eco.jimukyoku@gmail.com

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。詳しくは事務局にお問合せください。

アース・エコ メールマガジンのバックナンバーは↓からご覧いただけます

<http://www.kiykuwahara.com/page03/page03.html>

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。⇒ info@npo-earth-eco.com

会員募集中！

アース・エコ

検索



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。

⇒ <http://www.archive.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで info@npo-earth-eco.com